

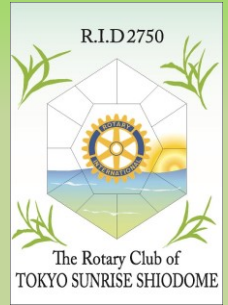
◆ WEEKLY REPORT ◆

R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



R.I.会長 ステファニー・A・アーチック

2024-25年度 会長 蛭谷 要之介
クラブテーマ「Fun Makes Magic！」



No.392 27 Feb. 2025 発行

第397回 通常例会

【日時】2025年2月13日(木) 12:30~13:30
【例会場】ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留
【例会出席】会員数 14名 名誉会員 5名 出席者 8 ビジター 1名 ゲスト 1名
【出席率】57.8%
【ニコニコBOX】¥15,000—

《プログラム》

- ◇ 開会点鐘
- ◇ 斉唱：「国歌」「我等の生業」
- ◇ 会長挨拶
次年度会長という事で、蛭谷会長の代理を勤めさせていただきます。本日は春一番すごい風でした。皆さん無事に辿り着けて良かったです。
- ◇ 幹事報告
4月10日のステップアップセミナーお申し込みの方は事務局までお願い致します。
- ◇ 委員会報告
愛知とし子副会長(奉仕委員会)：3月27日の障害者施設病院への訪問が14時スタートでグループ協議会と時間がかぶっていますので、お気を付け下さい。
- ◇ 出席報告
- ◇ にこにこBOX
愛知とし子：会長代理で次年度の練習です。よろしくお願ひします。
杉崎吉則：谷本様本日は宜しくお願ひ致します。風が強いですね。春はもうすぐですね。
梅澤武男：谷本様ようこそおいで頂きました。劉さん卓話よろしくお願ひします。
熊谷行裕：久しぶりに朝早い電車に乗ったら乗換駅が混雑していて、すいているドアに飛び乗ったら、女性専用車で焦りました。劉さん本日の卓話楽しみにしています。
鹿島孝夫：劉さん卓話楽しみです。
山本直道：先日仕事で交渉をしに京都の相手方会社に顧問先の社長たちと一緒に乗り込んでガンガン言ったら大成功しました！ニコニコです。
飯坂晃：谷本様本日はようこそおいで下さいました。劉さん卓話楽しみです。

司 会：杉崎吉則幹事
愛知とし子副会長

愛知とし子副会長

杉崎吉則幹事

熊谷行裕会員

◆会長：蛭谷要之介 ◆幹事：杉崎吉則 ◆副会長：愛知とし子【発行責任者】

【創立】2014年10月15日【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30【例会場】ザ ロイヤルパークホテルアイコニック東京汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196

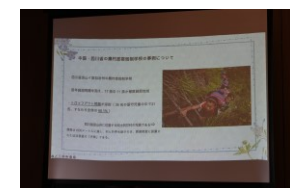
【URL】<https://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

谷本篤洋様(東京恵比寿 RC)：本日は米山記念奨学生の劉漢玉さんの卓話を設営頂き有難うございます。
今後とも米山記念奨学事業へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

◇卓話『中国農村における寄宿制学校の教育的機能の再検討』

2023-25年度米山奨学生 劉漢玉さん

私の卒業の成果について皆さんにお聞き頂こうと思います。中国の寄宿生の心のケアについての問題がありました。この課題のに加え中国農村部の寄宿制学校ならではの教育的役割を明らかにし、その課題を分析しました。日本の寄宿制学校を参考にして多角的に解析しました。中国では経済発展と共に両親が都市部で働く為に農村にとり残される子供たちの為に用意された寄宿学校で有りました。私が参考にしたのが、“きのくに子どもの村学園”を中心に考察しました。和歌山県にある寄宿学校です。ここは単なる寄宿学校ではなく子供たちの自主性を育む教育環境を提供するだけではなく社会全体が関わりながら成り立つ学びの場を形成している事が特徴です。特に関心を持ったのは、プロジェクト学習に基礎学習が効果的に結び付けられている点です。生徒たちが自由に発想し、学んだ知識を実際の課題に応用しながら想像力や達成感を育む場としてプロジェクトが機能しています。四川省の農村寄宿制学校は貧困問題を抱えています。8割以上の生徒がドロップアウトするという問題も抱えています。その中である音楽教師が合唱団を設立しました。誰でも参加できるもので、始めは子供たちが楽しく過ごせるものという事でしたが、人数が増え、子供たちが安心して過ごせる場を提供していました。その動画を TikTok に上げた所、沢山の人の見てもらえました。それが北京などの大都市でのコンサートに招かれたことにより、初めて大都市を訪れ、子供たちが夢を持ってたり未来を考えることができるようになりました。これまでは農村部の寄宿制学校は、政府からの予算が不足しているからだと考えていました。しかし調査を進めるうちに、政府からの予算は特別に組まれ、各地域の財政局も予算を貰っている事は公開しています。しかしこの予算が、どこでどのように使われているかはきちんと公開はされていませんでした。こうした現状を考えると農村寄宿制学校は単に予算を増やせば問題が解決されるという事ではないことが分かりました。教師はキャリアアップを求めて都市部へ移動し、農村部には優れた教師がいなくなっています。教師の役割は学歴などで評価されるものではなく、子供たちを成長させられる伴走者としての役割を担えるかどうか重要だと思います。学校も単に勉強の場だけでなく、生徒達が安心して過ごせる場であることも大切だと思います。この研究を通して子供たちが自由に成長し多様な可能性を追求できる教育環境を整える重要性が明らかになりました。米山記念奨学生生活で新しい友人が出来旅行にも行きました。自分の視野を広めることも出来、大変大きな経験が出来ました。一生忘れられない経験です。有難うございました。



愛知とし子副会長



杉崎吉則幹事



熊谷行裕会員



谷本篤洋様

◇ 講評

劉さん 2年間お疲れ様でした。素晴らしいお話を有難うございました。応援していて良かったと思いました。これからも是非繋がりを続けていきましょう。

愛知とし子副会長

◇ 開会点鐘

愛知とし子副会長

《今後の主な行事予定》

◇ 2月28日、3月1日 地区大会

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 2月20日 休会
- ◇ 2月28日 3月1日 地区大会
- ◇ 3月6日 12:30~13:30